

パブリックコメント 結果の公表

ー HS026:SS-MIX2ストレージ仕様書・構築ガイドラインー

医療情報標準化推進協議会
HS026審査委員会

標記について、ホームページ等を通じてご意見を募集しました。
お寄せいただいたご意見等と、それに対する医療情報標準化推進協議会審査委員会の見解についてご報告いたします。
今回、御意見をお寄せいただきました方々の御協力に厚くお礼申し上げます

ご意見	ご意見に対する考え方
<p>1) SS-MIX2 の「診療日」の扱いについて</p> <p>SS-MIX2 Ver1.2b の仕様書より、SS-MIX2 標準化ストレージのフォルダ名となる「診療日」は、</p> <p>「該当の診療情報を作成した(診療行為を行った、もしくは行ったとみなす)日付を、西暦 8 桁の数値(YYYYMMDD)で表現する。」と明記されました。</p> <p>弊社で開発している HIS は何種類かありますが、SS-MIX2 Ver1.2b で定義された「診療日」を永続的に保持していないシステムがあり、SS-MIX2 Ver1.2b 以降の形式で出力できない問題が発生しております。</p> <p>「永続的に保持していない」とは、診療情報を作成した直後は持っているが、時間が経過してオーダの状態が変化すると(例えば、患者が検査を実</p>	<p>1) 「診療日」について</p> <p>標準化ストレージのガイドラインに</p> <ul style="list-style-type: none">・当該施設での実装方針として・・・文書で明示しておくこと。 <p>拡張ストレージのガイドラインに</p> <ul style="list-style-type: none">・どうしても診療日が設定できない場合は” - “ (ハイフン) を設定してもやむを得ない。・医療施設は別途「データ種別一覧表」を定め、データ種別毎に原則として、診療日に何を設定するか、例外事項を含めたルールを定義し遵守すること。 <p>等の記載がありますが、もう少し明確に記載する方向で考えます。</p>

<p>施した、医事会計をした等の状態変化があると) 状態が変化した日時が変わってしまうため、「永続的に保持していない」となります。</p> <p>SS-MIX2 を採用したプロジェクトの中には、過去数年分のデータを標準化ストレージ形式で出力しておくように要求されるものもあり、対応に苦慮しております。</p> <p>そこで、改善案として、SS-MIX2 のガイドラインに、</p> <p>「SS-MIX2 Ver1.2b で定義した「診療日」となる情報をシステムが持っていない場合、当該施設で「診療日」とする日を決め、実装方針として文書で明示しておくこと」、</p> <p>のように、ガイドラインに方針を追記していただくことを提案します。</p> <p>2) SS-MIX2 の生理検査オーダーのセグメント構成について</p> <p>SS-MIX2 標準化ストレージ仕様書 Ver. 1.2c (2015.12.24 版)の137 ページに、生理検査オーダー (OMG^019) のセグメント構成が記載されています。</p> <p>ORC 共通オーダーの上にある { がグレーアウトされているため、SS-MIX2 の生理検査オーダーは、ORC セグメントを繰り返して使えないようになっています。</p> <p>一方、JAHIS 生理検査データ交換規約では、ORC セグメントを繰り返して使えるように記載されています。</p> <p>SS-MIX2 に限って、ORC セグメントを繰り返して使えないようになって</p>	<p>2) 「生理検査オーダーのセグメント構成」について</p> <p>調査の結果、SS-MIX2 Ver0.96 を作成したときは、当時の最新版であった、</p> <p>「JAHIS 生理検査データ交換規約 Ver1.0」に準じていましたが、SS-MIX2 Ver1.2 への改訂段階で「JAHIS 生理検査データ交換規約 Ver2.0」への対応が抜けていたことにより発生していることが判明しました。</p> <p>次版で修正することを検討します。</p>
--	---

<p>いるとも考えましたが、同じ SS-MIX2 の中でも生理検査結果通知の方は、ORC セグメントの繰り返しが可能になっており、同じ SS-MIX2 でもオーダと結果通知で仕様が統一されていません。</p> <p>1つのオーダ番号で、複数の生理検査を行うことは通常でありえます。</p> <p>例えば、</p> <ul style="list-style-type: none">・肺拡散能力・排気量分画・フローボリューム・クロージングボリューム・残気量 <p>といったものは、1オーダで登録するケースがあります。</p> <p>したがって、生理検査オーダも、ORC セグメントを繰り返して使えるよう、ORC 共通オーダの上にある { のグレーアウトを外していただくことを提案します。</p> <p>({ に対応する } のグレーアウトも外す)</p> <p>よろしく願いいたします。</p>	
--	--

意見公募公示日 平成 27 年 12 月 25 日
意見受付締切日 平成 28 年 1 月 25 日
標準化委員会承認日 平成 28 年 1 月 26 日
結果の公表日 平成 28 年 1 月 28 日